

令和5年度第4回 厚真町津波防災地域づくり推進協議会  
議事要旨

○日 時：令和6年3月1日（金）10:30～11:30

○場 所：厚真町厚南会館 1階 大集会室（勇払郡厚真町字上厚真 219 番地）

○出席者一覧：

定池会長	阿部委員	村上委員	中瀬委員
有村副会長	大橋委員	山内委員（代理）	鈴木委員
館山委員	吉岡委員	山本委員（代理）	西野委員
笹島委員	澤口委員	京野委員（代理）	
蛇池委員	吉田委員	西山委員	

○次第

- 1 開会
- 2 報告
  - (1) 第3回津波防災地域づくり推進協議会の結果概要
  - (2) 津波防災に係るJR日高本線の踏切横断対応について
- 3 議事
  - (1) 津波防災住民懇談会を踏まえた津波防災対策
  - (2) 津波防災地域づくり推進計画
    - ① 第3回推進協議会以降の修正・追加事項
    - ② パブリックコメント結果
    - ③ 計画に係る審議
  - (3) 今後のスケジュール
- 4 閉会

○配付資料

- ・ 次第
- ・ 資料1 出席者名簿・配席図
- ・ 資料2 委員名簿
- ・ 資料3 第3回津波防災住民懇談会の結果概要
- ・ 資料4 津波防災に係るJR日高本線の踏切横断対応について
- ・ 資料5-1 津波防災住民懇談会を踏まえた津波防災対策
- ・ 資料5-2 意見照会結果（第3回協議会以降の意見）
- ・ 資料5-3 厚真町津波防災地域づくり推進計画
- ・ 資料6 今後のスケジュール
- ・ 参考資料1 厚真町津波防災地域づくり推進協議会の検討経緯
- ・ 参考資料2-1 第3回津波防災地域づくり推進協議会の結果概要
- ・ 参考資料2-2 令和5年度第3回 厚真町津波防災地域づくり推進協議会 議事要旨

## ○要旨

### 1 開会

### 2 報告（資料3、参考資料1、資料4）

#### (1) 第3回津波防災地域づくり推進協議会の結果概要

#### (2) 津波防災に係るJR日高本線の踏切横断対応について

#### ●定池会長

- ・報告事項について意見はあるか。

#### ●浜厚真自治会

- ・私の発言を不快に感じるかもしれないが意見を述べさせてもらいたい。我々が検討している事項は、命に結びついていることだが、その割には議論が百出しているようには感じない。このような状況で町が示す内容で計画を決めてしまってもよいか心配している。どのような思いで会議に参加しているのだろうか。
- ・海岸に近い場所に住んでいる我々にとって、津波が発生したときにどのように命を守る行動をとるべきか、具体的に考えつかない。
- ・北海道胆振東部地震の際には飛び起きたが、驚いてパジャマのボタンが外せなくてボタンを引きちぎった。それ以降、ボタンは1つしかしないようにして、すぐに次の行動に移せるような工夫をして毎日生活している。
- ・先日、苫小牧民報に来年度、津波避難タワーの基本設計を開始することが掲載された。津波避難タワーの建設について前向きに検討されているが、住んでいるものにとってはどのように考えたらよいか。
- ・能登半島地震では津波の高さが公式には1.2mと発表されたが、津波の痕跡高は4m近くの高さと報道があった。津波避難タワーが本当に命を永らえる施設になるか、非常に心配している。海側に立地しても建設されれば避難の際に無視するわけにもいかない。津波避難タワーに逃げ込むか、海から離れる方向に逃げたほうが良いのか、迷うところだ。
- ・津波の浸水深や標高の看板は厚真川右岸はあるが、左岸にはない。前回の推進協議会の意見で、高規格道路の避難場所は除雪もされていないとあり、避難場所として考えてよいか不安に思える。海から離れるための対策を考えてもらったほうが良いように感じる。
- ・前回の推進協議会で、浜厚真には10年たったら誰も住まないかもしれないとは住民が言いはしたが、町が浜厚真のまちづくりを持ってくるわけではないと、地区の声はある。このような場ではなくても、平常時に顔を合わせる会合で今後の進め方を示してくれた方がよい。
- ・北海道議会の一般質問で、能登半島地震の被災により防災計画を再検討するか発言があった。考え方は変わるのか知りたい。

(定池会長) ご自身のご経験から地震・津波の対策のご意見をいただいた。能登半島地震のあと、新たな心配が出てきたことは理解できる。個人、地域、行政の対策について宿題をいただいた。来年度以降につなげたい。高規格道路の除雪については除雪されなかったのではなく、町職員が除雪をしていて驚いたとの意見だったことを補足する。

#### ●有村副会長

- ・資料4の線路横断については、町としては踏切横断を優先するのか。

(事務局) 線路横断は横断後の避難ルートの確保が必要になるため、町としては踏切横断を協議する予定だ。

●有村副会長

- ・室蘭市や登別市は線路横断を優先すると聞いている。厚真町は自動車避難を考慮して踏切横断を優先することは理解できる。踏切を上昇させる人が誰か戸惑うと救える命が救えない。表では地域住民を候補者とする場合の欠点として「お願いベースとなり受け入れられない可能性あり」とあるが、自助を認知してもらい、開けることが仕事と思ってもらう必要がある。地域に説明を尽くす必要があるだろう。

(定池会長) 貴重な意見をいただいた。欠点ではなく、検討事項と読み替える必要がある。

### 3 議事

#### (1) 津波防災住民懇談会を踏まえた津波防災対策 (資料 5-1)

●定池会長

- ・議事 1 について意見はあるか。

(意見なし)

#### (2) 津波防災地域づくり推進計画

##### ① 第 3 回推進協議会以降の修正・追加事項

##### ② パブリックコメント結果

●定池会長

- ・議事 2 について、今年度最後の推進協議会であることから、次年度以降の取組み含め、皆様から意見をいただきたい。

●鹿沼自治会

- ・自治会長が交代したばかりで、協議会には初めて参加して内容は把握できていない。被害の内容に対策をたててもらい、協力はしていきたい。

●新町自治会

- ・津波避難施設は運営方針を固めて有効活用する必要がある。避難路は道路を拡充して浜厚真地区から避難ができるようにする必要がある。

●防災マスター

- ・自治会は会長が毎年交代するところが多い。新しい方になると引継ぎが難しいところがある。海に近い地区の自治会は会長を固定した方を選出したほうが、地区のリーダーになってよいのではないかと。

●厚真町社会福祉協議会

- ・地域住民がいかに素早く避難できる体制をつくるかが課題だ。津波避難施設を建設する一方で、防災について啓発し、地域に根付かせることが第一の目的だろう。地域に根付いた知識を活かすことが重要だ。また、地域住民だけではなく、サーフィン利用者などに周知徹底することも必要だ。海拔表示はもっと細かく表示して、外来者にも常に目につくようにすることが重要だ。

● 鵠川漁業協同組合

- ・津波避難施設の建設について、浜厚真の住民は心苦しく感じている人もいる。自分たちのためにありがたいことだが、自動車で避難すると寄らずに海から離れるように避難することを選ぶだろう。津波は昼に起こるか、夜に起こるか、夏か冬かまったくわからないなかで、計画通りにはいかないかもしれない。海の近くの居住者を集約できれば、能登半島地震のような大きな被害にはならないかもしれない。

● 北海道電力株式会社 苫東厚真発電所

- ・様々な課題や検討事項があり、能登半島地震は他人事ではない。津波避難施設を整備したあとに無駄にならないように活用することが重要だ。今後もかかわりを持ち対応していきたい。

● tacoo surf

- ・サーファー目線だと、これから夏に向けて波が冬ほど高くない時期に人が増える。浜厚真海岸の利用者は札幌や千歳、苫小牧からがほとんどだ。町外からの利用者は、厚真町内で避難する場所がわかりにくいので啓発は重要だ。海岸は液状化で自動車が使えないことも考えられるので、走って逃げられる津波避難施設は有効だ。一方で、自動車避難も考慮した複数の経路を整備することも重要だ。北海道サーフィン連盟と連携していきたい。

(鵠川漁業協同組合) 道路整備は新しく作るのか、幅員を広くするのか。液状化は起きる可能性はあるのか。

(事務局) 資料に示しているが、複数経路は必要と考えている。具体的な検討は今後していく予定だ。液状化の発生は予測されている。

● 胆振東部消防組合 厚真支署

- ・消防の使命は皆さんを助けることにあるので、町と情報を共有していきたい。

● 厚真消防団

- ・消防団は地震時の火災は対応できるが、津波は時間もありません何もできない。能登半島地震でも消防団員がなくなると聞いた。北海道胆振東部地震のあと、強い雨が降り避難を呼びかけたが避難をしない人がいた。

● 苫小牧港管理組合

- ・推進計画はよくまとめられている。来年度以降も引き続き検討し、ハード対策、ソフト対策を組み合わせるとよい。津波避難施設は整備後に避難訓練を重ねるとよい。

● 北海道開発局室蘭開発建設部苫小牧道路事務所

- ・計画の策定にあたり、地域の皆さんへのきめ細かな対応をされている事務局に対して敬意を表したい。また、国としても、日本海溝・千島海溝沿い巨大地震対策は喫緊の課題として考えており、厚真町を含む北海道太平洋沿岸地域は、令和4年に特別強化地域に指定され、国で認められた事業については国費が2/3と嵩上げた支援がされることであり、地域の安全確保のため、ぜひ有効活用をして頂きたい。また、高規格道路を活用した町と協議を進めていることであり、適宜情報共有して参りたい。

- 北海道胆振総合振興局 室蘭建設管理部苫小牧出張所
  - ・今回策定の推進計画は、将来的な「まちづくり」を踏まえた計画であり、個別の避難計画を示しているものではない。会議中の意見にもあったように、町民がどのように避難すれば良いか周知されていないように見受けられる。現時点で、どのように避難をするか、現実的な避難計画を検討する必要がある。
  - ・今後、避難計画をたてる際には協力していきたい。
- 北海道胆振総合振興局 地域創生部危機対策室
  - ・線路横断は重要であり、踏切横断について情報提供していきたい。安全確認・啓開処置要員についてはJR北海道との協議を支援していきたい。
- 厚真町 副町長
  - ・厚真町は津波到達時間が44分と短く、これまで避難困難地域の解消について議論してきた。今後は地域ごとの計画づくりについて取組みを検討したい。

### ③ 計画に係る審議

#### ●定池会長

- ・厚真町津波防災地域づくり推進計画について賛成の方は挙手をお願いしたい。

(挙手多数であることを確認)

#### ●定池会長

- ・賛成多数により、津波防災地域づくり推進計画は成案として承認された。

## 4 閉会

以 上

◆会議等写真

